

肥後民家村 工房体験の案内

① レリーフ製作体験

木を削り模様や形を作ります。木のぬくもりや刃物の使い方を学びます。難しい工程は事前に行いますのですぐに楽しめます。

と き	木・金のどちらか週1回 午後1時～3時
ところ	肥後民家村 能面工房「嘉祥苑」
対象	刃物の使い方を覚えたい子ども(小学生以上)や保護者。
費用	3,500円
申し込み先	☎080・1766・6769



② 陶芸製作体験

コーヒークップ、茶碗、花瓶など自分だけの食器を製作できます。色付けや焼きは工房で行います。完成品を1カ月後に受け取りに来てください。

と き	木・金・日の週3回 午前11時～午後2時
ところ	肥後民家村 陶芸工房「万世窯」
対象	どなたでも参加できます。
費用	1,200円
申し込み先	☎090・5945・5065



ふれあいバス恋ツアー開催！

～素敵な春を見つけに行こう！～

と き	2月15日(日) 午前9時 集合
集合場所	和水町役場本庁
行き先	中富記念くすり博物館(佐賀県鳥栖市) ⇒ 鳥栖プレミアムアウトレット ⇒ 久留米青少年科学館内プラネタリウム
参加費	男性:5,000円 女性:4,000円 ※2月11日(水)以降のキャンセルは全額負担となります。
締め切り	2月8日(日)午後7時まで ※応募者多数の場合、2月9日(月)抽選し、当選者だけに通知します。
応募資格	20歳～45歳の男女各15人(学生不可) ※男性に限り、荒尾市または玉名郡市にお住まいか、勤務されている人。
申し込み方法	荒尾・玉名地域結婚サポートセンターへ電話かメール、または直接窓口へ申し込みください。

申し込み・問い合わせ先 有明広域行政事務組合 荒尾・玉名地域結婚サポートセンター
☎0968・78・2543 E-mail: arao.tamana.k-s-c@wish.ocn.ne.jp

歴史調査の楽しみ方

江栗城跡

16

大田 幸博

(元・菊水町史編纂委員会副委員長)

北 側区域は、伐採作業が進み、地形が、くつきりと浮かび上がりました。測量調査も順調ですが、底冷えする寒さには、閉口しています。

主軸尾根62と62-1との間には、62-2・3の接点があります。この箇所は、段落ちで、堀切の埋没が考えられます。堀切1は一部が崩れて、露呈したのでしょうか。

全長74m、幅9～3mの平地で、北端から西側へ大きく彎曲しています。
〔北側〕 縁部に76が並走しています。高低差0.6～1.1m、長さ48m、幅5.5～2m、西端から、長さ14m分が鍵型に折れて、62-1を包み込みます。

76の下位は、U字形の谷部となり、直下177があります。高低差3mで、法面は削り落されて、東端で、堀切2に繋がります。重機が通った痕跡がありますが、新しい造成地ではないと思います。

〔西側〕78は、62-1の延長部分です。長さ12m、幅3mで、主軸尾根は通路のように括れます。北縁には、高低差0.4m、長さ23m、最大幅4mの79が並走しています。さらに、その下位には、高低差1.4m、長さ27m、幅8.5～5mの80があります。

〔南側〕この箇所は、U字形の深谷に面しています。62-3の延長部分は、62-1の傾斜地部分で、段差面はありません。下位の斜面には、81と82の帯状地形を挟んで大型の83が造成されています。

81は、62-3との高低差が2.5m、長さ33m、幅3.5～1.5m犬走りでしょう。83は、75に繋がる造成地です。特徴的なのは、62-1との高低差が5m もあり、見下ろしても、見上げて、迫力があります。法面は、急峻に削り落されており、敵勢の前に立ちほだかる城壁のようです。全長66m、西端で最大幅10mに広がります。一方、東側は、最小幅5mに括れています。

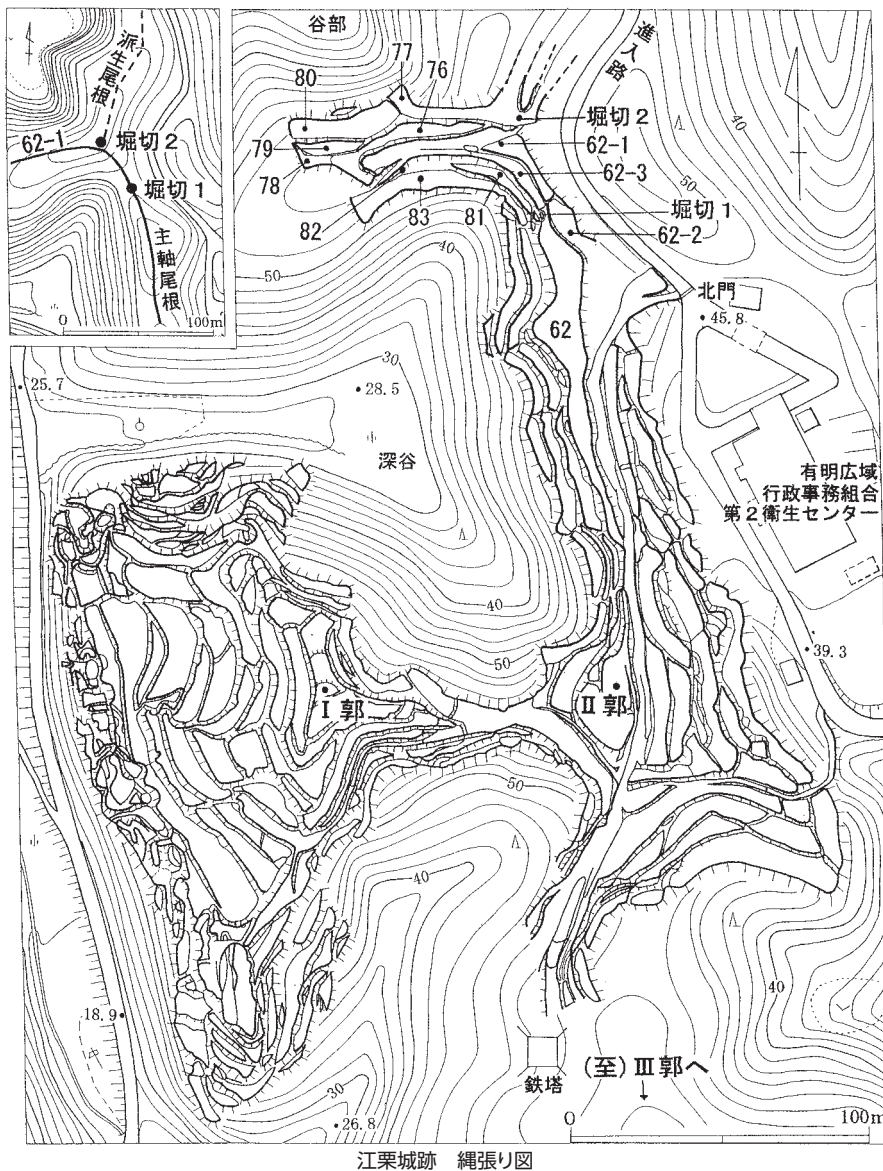
なお、この区画から南下は、1段の細帯状の削平地を挟んで、絶壁が谷部へ下ついています。

掲載図面

城跡地は、第2衛生センターに面する東側部分が、やや緩傾斜地である他は、全て急傾斜地で、周囲を谷部に囲まれている事を示しています。要害の地に築かれた一級品の山城とわかります。

堀切2

底幅4.5mで、対岸の派生尾根は、上面幅3.5mに整形されており、見た目に土塁のようです。主軸尾根から、派生尾根を切り離す重要な防禦施設です。堀底の東端から作業道がセンター道へ下ついています。



江栗城跡 縄張り図